「事業再生市場の現状と今後の課題に関するシンポジウム」
パネルディスカッション参考配布資料

平成16年9月7日

事業再生市場の活性化に向けた今後の課題

産業再生機構代表取締役専務
冨山　和彦

テーマ	機構の実績	長期的課題
・メインバンク＆多数行取引における私的整理問題	・プロラタ型の私的整理モデル提示	・制度的整備の必要性（倒産法制、私的整理のガイドライン、商法等）
・引当金のバラツキ	―	・金融検査の厳格化、横串化は着々と進行中
・政府系金融機関問題	・私的整理ベースでの債権放棄モデル提示	・制度的整備の必要性
・税務面の問題	・個別事例対応型のモデル提示	・制度的整備の必要性
・法的整理の使い勝手の悪さ	・私的整理と法的整理の中間モデル提示 （マツヤデンキ）	・チャプターイレブン的な倒産法制整備の必要性
・経営者の個人保証問題	・限定責任モデルの提示	・制度的整備の必要性
・PEプレーヤー・再生プレーヤーの未成熟（数やサイズの面と経験の面）	・呼び水効果	・国内勢の規模の問題と内部人材の金融系への偏り過ぎ
・企業価値評価におけるＣＦアプローチの浸透	・モデル提示及び案件交渉を通しての普及	・関係諸機関の努力の継続
・ローン市場、メザニン市場の未成熟	・買取サイドのトランザクションサイドモデルの提示 （売却サイドはこれから）	・制度的整備及び取引量の拡大を促すしくみの必要性
・プロフェッショナルな経営人材強化と人材市場の育成	・案件を通じてのモデル提示	・　制度や機関の整備と日本人の意識改革
・情報の非対称性	・厳格なD.D.による問題提起	・　会計監査制度の強化 ・　監査運用力の強化
・困窮企業の企業統治問題	―	・制度的整備の必要性